

件名	たちばな高齢者在宅サービスセンター（たちばなデイサービス）の廃止予定の見直し、存続に関する陳情			
提出者住所氏名	墨田区文花 B			
受理年月日	令和2年6月9日	受理番号	第3号	

要旨

たちばな高齢者在宅サービスセンター（たちばなデイサービス）の廃止予定を見直し、存続してください。

（理由）

- ・ たちばなデイサービスは、墨田区の福祉の大地にしっかりと力強く根を広く張ったデイサービスの大木です。
 - ・ その大木を切らなくて良かったという日が、近い将来絶対来ます。
 - ・ 介護施設とその職員は、医療現場の病棟、ベッド、医師、ワクチン、マスクに匹敵するような貴重な存在です。
 - ・ 最近の特別養護老人ホームでの集団虐待事件は、職員の数・スキル不足が原因と考えます。
 - ・ 色々なお店や物と同様、介護施設と職員にも質の差とカラーの違いがあることをぜひ知ってください。
 - ・ 1つの大きな施設をつぶせば、介護難民が大量に生まれます。
 - ・ 認知症の85歳の母は、すでに介護難民予定になりました。
 - ・ 認知症対応型デイサービスの少なさ（7施設）を知ってください。その本店がたちばなデイサービスです。水を移すバケツが足りません。
 - ・ ケアマネージャー、現場職員を含めた専門者会議を再度開くべきです。
 - ・ デイサービスの役割は、7割以上、介護家族の休息のための存在です。
 - ・ そもそも福祉同士の施設の奪い合いは、福祉増進になじみません。一步（30人）進んで二歩（130人）下がることになります。
 - ・ どうか、たちばなデイサービス約35人の職員、約130人の利用者、約25人以上の認知症、そして多くの介護家族を救ってください。
 - ・ 墨田区の中に、きっと墨田の渋沢栄一がいるはずです。
 - ・ 廃止予定の見直しを、どうかお願いします。
 - ・ 85歳の母と、あと5年は、このまま穏やかに生きたいです。
- 以上の趣旨をご理解の上、上記事項の実現をお願いいたします。

以上